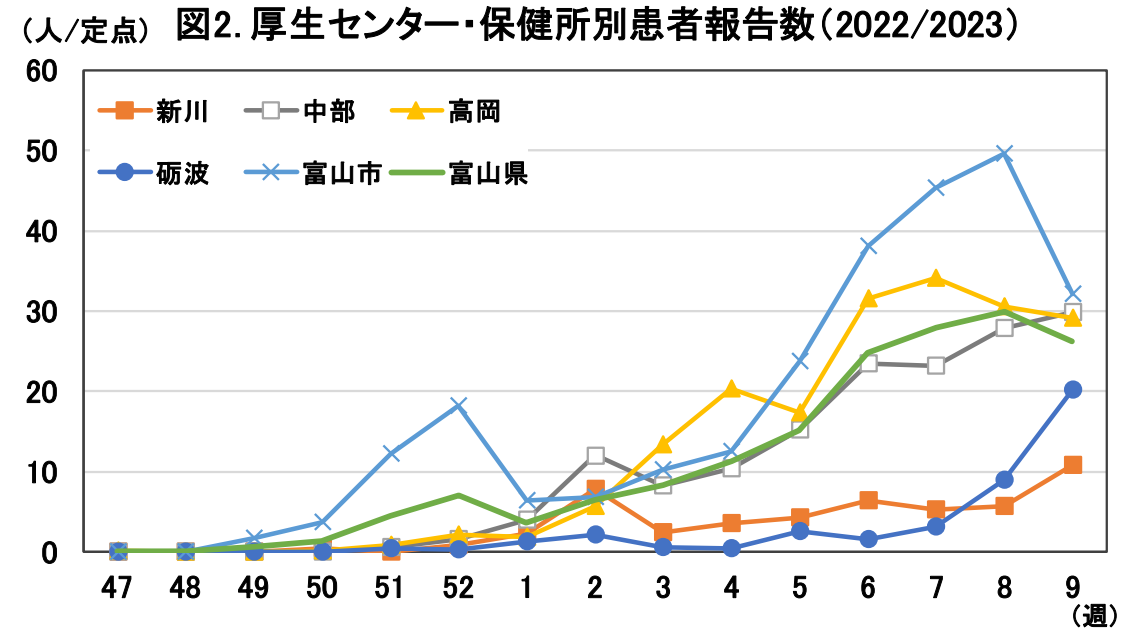
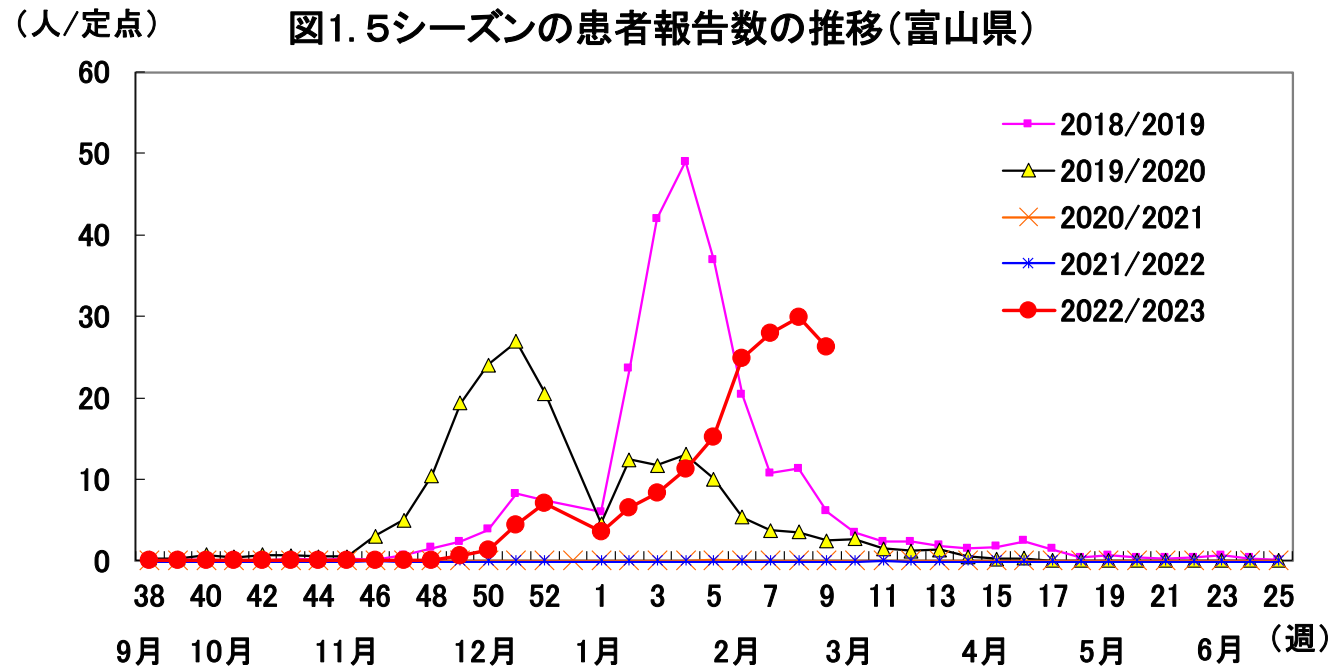


# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第9週(2023/2/27~3/5) 感染症発生動向調査速報値 (2023/3/8時点)】



- 今週の報告数は26.25人/定点であり、先週 (29.85人/定点) から減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、富山市管内 (水色) では先週 (49.62人/定点) まで増加傾向だったが、今週32.19人/定点に減少した。一方、新川、中部、砺波管内では増加傾向が続いている。

図3. 年代別割合(富山県、第9週)

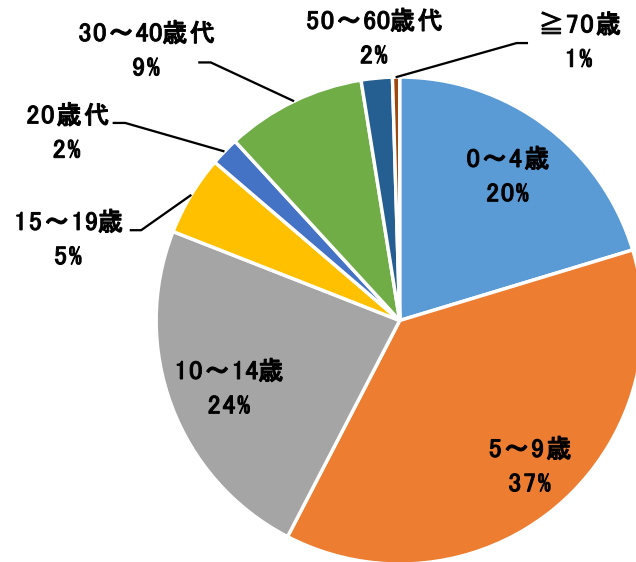
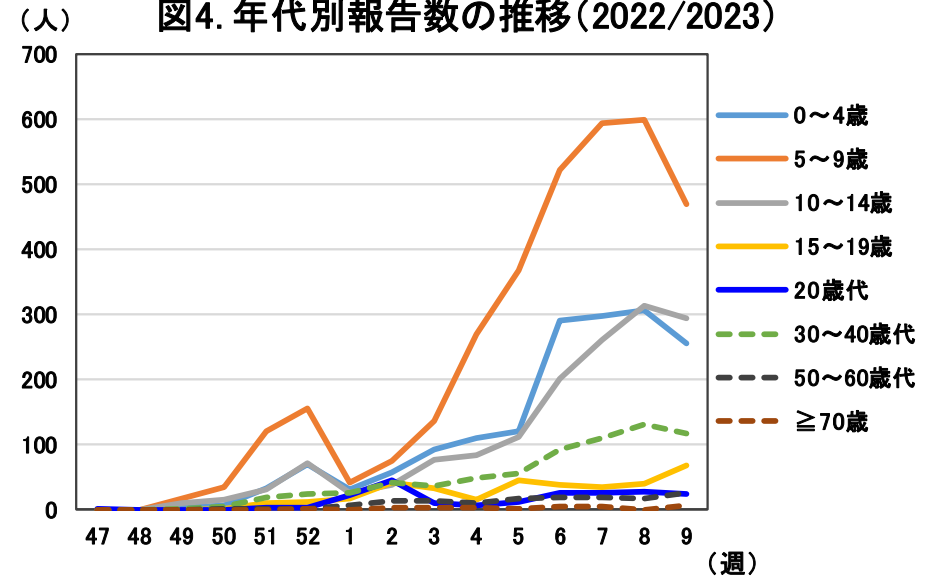


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第9週の年代別割合(図3)では、15歳未満の小児が81%を占めた。一方、50歳以上の症例は非常に少ない状況が続いている。
- 年代別報告数の推移(図4)では、0~4歳(水色)、5~9歳(橙色)、10~14歳(灰色)の報告数が減少した。一方、15~19歳(黄色)は増加した。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は第9週に、小学校21件、中学校6件、高等学校2件の計29件報告された。引き続き小学校を中心に感染が続いていると考えられる。

富山県HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

富山県感染症情報センターHP : <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第8週)

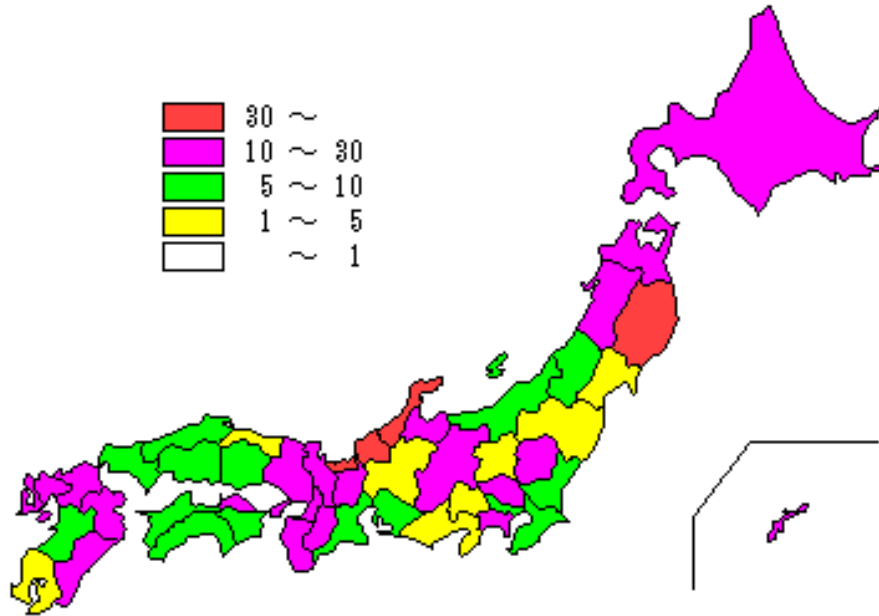
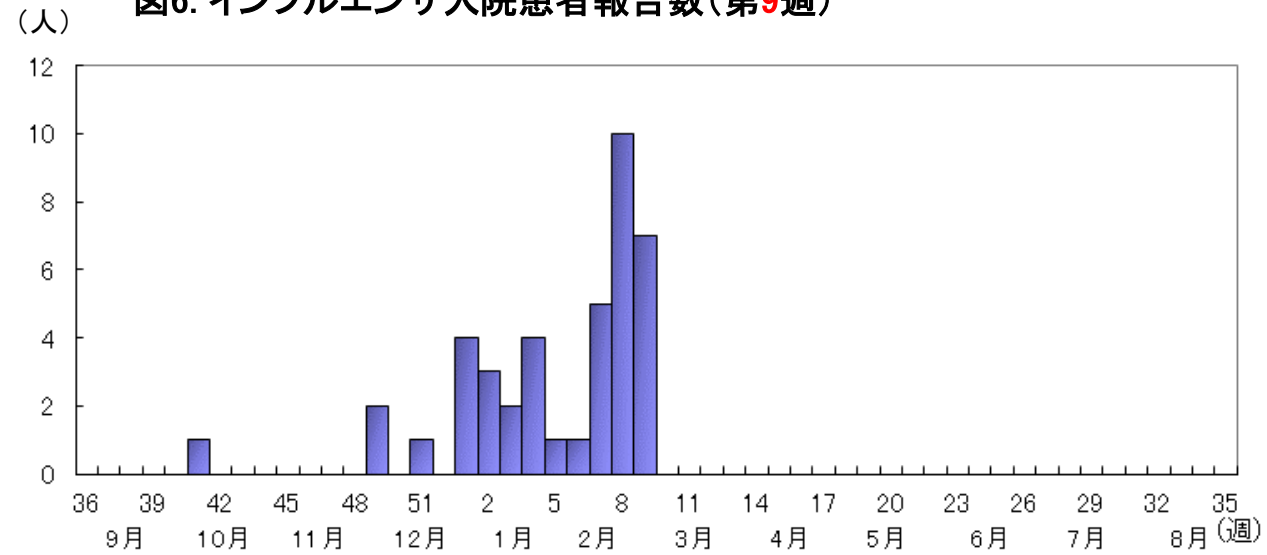


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第9週)



- 全国では第8週に11.32人/定点となり、第7週（12.59）からやや減少した。なお、都道府県別(図5)では23道府県で注意報レベルの10人/定点を超えている。また、岩手県、石川県、福井県では、警報レベルの30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第9週に7例の報告（小児1例、70歳以上6例）があった。